

上山滿之進 かみみち 官僚。明治二年九月二十七日周防國生れ、昭和十三年七月二十日歿（八六—一九六）。帝國大學卒。明治二十八年内務省公入り、法制局を経て、四十一年農商務省山林局長、四十五年熊本縣知事、大正二年農商務次官、七年貴族院議員、十五年臺灣總督、昭和十年樞密顧問官。この間の大正九年、歐米十餘カ國を歴訪中、第一次世界大戦後の各國國勢と硬貨（日圓、流通状態變化、國際信用消長など）の關係を著目し、後年『戦争と硬貨』（昭和四年七月十日日本評論社）を著した。また蕉庵と號して漢詩を能くし、在臺中全島の詩社を招いて詩吟大會を催すなど交流に努めた。

